10 月 13 日：1,400 ポイントの壁は厚く、VN 指数は 8 日ぶりに反落

心理的節目の 1,400 ポイント台を固めることができず、VN 指数は 8 日ぶりに下落して引けた。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.21%安の 1,391.91 ポイントで取引を終えた。同指数は直近 7 日間で 4.4%以上 上昇していた。

その一方で、ハノイ市場の HNX 指数は 0.97%高の 379.34 ポイントで取引を終え、8 日続伸となった。同指数は今月初めから 6.2%以上 上昇していた。

マーケット全体の売買代金は前日比 21.6%減の 19 兆 4,000 億ドン（8 億 4,350 万米ドル）で、そのうちホーチミン市場の売買代金は前日比 13.6%減の 17 兆 5,000 億ドンとなった。

外国人投資家のホーチミン市場での売り越し額は、5,000 億ドンを超えた。

値下がり寄与度上位にはビンホームズ（VHM）-1.1%、マサングループ（MSN）-1.7%が含まれ、それぞれ VN 指数を押し下げた。

他にもテクコムバンク（TCB）-1.1%、ペトロベトナムガス（GAS）-0.9%、ベトナム投資開発銀行（BID）-0.9%、ペトロリメックス（PLX）-2.2%、バオベトホールディングス（BVH）-3.1%、サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）-1.2%といった大型株に売りが広がった。

その一方でビングループ（VIC）+0.2%、モバイル・ワールド・インベストメント +1.4%、FPT グループ（FPT）+0.4%といった大型株の一部に買いが入り、VN 指数を下支えた。

「VN 指数が 1,400 ポイントの上値抵抗線に差し掛かり、国内外の投資家の買いの勢いは弱まっている。今後、同指数は 1,380～1,400 ポイントのレンジで推移していく可能性がある」（BIDV 証券）

また市場では別の意見も聞かれた。

「VN 指数の上昇は変わらないだろう。投資家は値上がりしている株式を持ち続け、値動きを追っている銘柄に上昇シグナルが見られたら、新たな買付のチャンスと考えていいだろう」（ベトドラゴン証券のアナリスト）

「VN 指数は投資家の買いと売りの間で揺れ動いた。上昇後に株価がもみ合うのは自然なことです」（同証券会社）

「全体的に見て、VN 指数は短期的には上昇を続ける。投資家はこの状況を利用し、自身のポートフォリオを再構築し、新たなチャンスをマーケットに求めるのが良いだろう」（同証券会社）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。